



学 校 通 信

平成28年度 第 2 号
平成28年 5月 2日
練馬区立開進第三小学校
校 長 土 屋 信 行

もう一つの名前

校長 土屋 信行

新年度になり、1ヶ月が過ぎました。校内を回っていると、子供たちの明るい笑顔に多く出会います。「返事・挨拶・後始末」についても、一生懸命に取り組む様子が見られ、大変嬉しく思っています。ご家庭でのご指導にも感謝申し上げます。

さて、先日の全校朝会で、私は子供たちの当番・係・委員会活動等、いわゆる学校における「子供たちの仕事」について以下のような話をしました。

～ 学校でのみんなの仕事は、大きく二つに分けられると思います。一つは、仕事の内容はだいたい決まっていて、みんなの生活に必要な仕事。もう一つは、その仕事をする人の工夫次第でみんなの毎日が楽しくなったり、過ごしやすくなったりする仕事。どちらも、人が集団で生活する上でなくてはならないものだと思います。この二つの仕事に、責任をもって一生懸命取り組む人が多い学級、学年、学校が、みんなにとって、いい学級、いい学年、いい学校になるのです。(中略)

さて、今私は、仕事の話をしていますが、このことに関係して、みんなには「もう一つの名前」があることを知っていますか。それは「誰か」です。

みんなは「誰か をやって」「誰かちょっと手伝って」等々、「誰か...」と言われることがたくさんあるでしょう。そんな時、「誰か...」と言われたら、「それは自分の名前なんだ」と思いなさい。そう思って仕事のできる人が増えていったら、開三小は、もっともっといい学校になっていきます。

また、更に高いレベルは、「誰か...」と言われなくても自分で気付いて、やった方がいいと思う仕事に進んで取り組む人です。(後略)

この朝会の後、廊下で会ったある子から、「校長先生、『誰か』って言われたから、すぐお手伝いしたよ」と声をかけられました。また、ある担任からは「『何か仕事はありませんか』って何人も来るんですよ」という、うれしい報告もありました。これからも、このような子供たちの素直で前向きな心を大切にはぐくんでいきたいと思えます。

